

吹田だからできる！「スタジアム防災」

平成27年9月にしゅん工された「Panasonic Stadium Suita」は、計画当初から「スタジアム建設募金団体」と吹田市が、「災害時における地域の防災拠点としての機能をもつ」という視点で協議を重ね、協定を締結しました。完成後に公共施設として吹田市へ寄贈され、現在は（株）ガンバ大阪が維持管理を行っていますが、スタジアムは吹田市の防災にとって、大きな役割を担っています。

◆備蓄拠点

スタジアムの観客スタンド下スペース（約600㎡）を活用し、飲料水、毛布、トイレットペーパーなどを備蓄しています。

◆救援物資の配送拠点

スタジアムは大阪国際空港（伊丹空港）にも近く、名神、中国道、近畿道が接続する吹田ジャンクションに近接しており、隣接する万博記念公園東駐車場は、臨時ヘリポートにもなることから災害時に全国から届く支援物資をスタジアムに集積し、荷捌き後避難所に届けるスキームで「吹田市備蓄計画」を策定しています。

◆啓発の協力

吹田市と市教育委員会が主催する「市民ふれあい事業 夢と希望を広げる出会い～未来への備え～inスタジアム」では、市内小学生がガンバ大阪のコーチによる「サッカー体験」等とともに、防災も学びます。

◇防災講座「ここで地震が起きたら？」

◇段ボールベッド組み立て体験

◇備蓄倉庫の見学

小学生から後日届けられる感想から、スタジアムだからこそできる貴重な実体験が「防災」を考えるきっかけになっていることが分かります。

ミックスゾーンでの防災講座



スタンド下の備蓄スペース



ピッチで防災？！
ダンボールベッドの組立体験

また、上の◇メニューを一般市民向けに実施した啓発講座「サッカースタジアムのバックヤードで学ぶ吹田の防災」は、応募者多数のため抽選で、約260名の方にご参加いただきました。参加者はスタンド下にある備蓄を見て驚かれますが、公共の備蓄には限界があることも分かるので、個人備蓄の大事さを伝える機会となっています。

◆訓練の協力

平成30年1月26日に、吹田市主催で、（株）ガンバ大阪をはじめ、消防、警察、自衛隊、医療機関（DMAT）等27機関約600名が参加する国民保護実動訓練をスタジアムで実施しました。

試合当日にスタジアム内で化学剤や爆発物を用いたテロが発生したことを想定し、観客避難から救出・救助、応急救護、搬送、爆発物処理、環境除染など行いました。スタジアムで訓練したことで、より具体的にイメージでき、テロなどの緊急事態に備えるための対応力が向上しました。



スタジアムでのテロを想定した
吹田市国民保護実動訓練



スタジアムでのテロを想定した
吹田市国民保護実動訓練

「非常食と言わせない防災クッキング ～ “美味しい”を備蓄しませんか～」



Hugミュージアム / 大阪ガス
防災クッキング★①



吹田市西山田地区
防災クッキング★②



吹田市五月が丘地区
防災クッキング★③

吹田市では、備蓄食を美味しく食べてみんなで防災を考えるきっかけにさせていただきたいという思いから「吹田市備蓄食オリジナルメニュー」を大阪ガス（株）さんと共同開発しています。また、皆さんに楽しんでもらいながら地域で続けてもらえるよう、このメニューを使った取組のスキームを考えました。

大阪ガス Hug ミュージアムでの防災講座でローリングストックなどを学んだ後、大阪ガス（株）講師から非常食であるアルファ化米や乾パンを使ったリゾットやティラミスを作って試食します（防災クッキング①）。また、参加いただいた方々により、大阪ガス Hug ミュージアムで学んだことを地域で広げるために、①の参加者や危機管理室職員が講師となって、講座とクッキングを必ずセットで実施します（防災クッキング②③）。

クッキングは女性が中心となって取り組みやすいこともあり、女性目線での避難所開設訓練も合わせて行った地域もありました。また②を行う過程で新メニューを開発した地域もありました。改めて、女性のパワーを感じる事業となっています。

問合せ先
吹田市総務部危機管理室
06-6384-1753